

平成21年度 第1回北海道地方独立行政法人評価委員会公立大学部会 会議結果

1 開催日時

平成21年4月17日（金）16:00～16:20

2 開催場所

道庁別館12階 第4研修室

3 出席者

【委員】

舟橋 健市 部会長（公認会計士）※議事（1）により部会長に選任

太田 明子 委員（太田明子ビジネス工房代表）

西 安信 委員（北海道工業大学学長）

和田 健夫 委員（国立大学法人小樽商科大学副学長）

【欠席委員】

宇根 良衛 委員（独立行政法人国立病院機構 西札幌病院 病院長）

【事務局（行政改革局）出席者】

重田参事、漆館主幹、村上主査、富加見主査、樋口主任

4 会議次第

1 開会

2 議事

（1）部会長の選任

（2）北海道公立大学法人札幌医科大学「年度計画」（平成21年度）の概要等について

（3）その他

3 閉会

5 議事概要

（1）部会長の選任

【事務局】

- ・ ただいまから公立大学部会を開催いたします。部会長の選任につきましては、北海道地方独立行政法人評価委員会条例第6条第3項におきまして、部会に属する委員が互選をするということになっております。つきましては、部会長について、どなたか立候補される方、または推薦する方がございましたら、よろしくお願ひしたいと思ひます

【委員】

- ・ 私の方から推薦させていただきます。2年やって大分慣れてきたと思いますので、引き続き舟橋委員を部会長に推薦したいと思います。

【事務局】

- ・ ただいま、委員の方から、舟橋委員を推薦するという意見がございましたが、いかがでしょうか。ご異議がなければ、部会長につきましては、舟橋委員にお願いしたいと思います。

【部会長】

- ・ 少しでも札幌医科大学を通じて、北海道のお役に立てればと思いますので、ざっくばらんな意見交換をしながら進めてまいりたいと思います。よろしくをお願いします。
- ・ さて、評価委員会条例第6条第5項に基づき、部会長があらかじめ指名する者が、その職務を代理するというようになっております。部会長が代理を選ぶということで、私の方から指名させていただきます。西委員に代理の方をお願いいたします。

(2) 北海道公立大学法人札幌医科大学「年度計画」（平成21年度）の概要等について

【部会長】

- ・ 次に、(2)の北海道公立大学法人札幌医科大学「年度計画」（平成21年度）の概要等について事務局から説明願います。

【事務局】

- ・ 資料3-1と資料3-2ですが、北海道公立大学法人札幌医科大学「年度計画」22枚と、その概要があります。本日は概要版だけで説明したいと思います。
- ・ 資料3-1をご覧ください。左側に中期計画の項目があります。中期計画の項目は233項目であり、その項目を5つに大分類したものであります。中期計画の項目の右側には、年度計画の項目数の推移を記載しています。平成19年度、20年度、21年度となっています。一番右側の欄は、平成20年度の項目数と平成21年度の項目数を対比し、減少した項目数を記載しています。
- ・ 年度項目数の推移を見ますと、平成19年度は488項目、平成20年度は458項目、平成21年度は285項目となっています。昨年度の評価委員会におきまして、法人に対し、年度項目数を整理するよう指摘した結果、平成20年度の458項目に対しまして、平成21年度は258項目と173項目減少してございます。
- ・ その減少した173項目の内訳といたしましては、表の右側に記載されておりますとおり、対応済又は通常業務として整理した項目が62項目、計画項目の統合により整理された項目が67項目、再掲項目として計画数に不参入となった項目が44項目あります。また、平成21年度の285項目の内訳といたしましては、資料には記載されておきませんが、前年度と同表現で実施する項目数が201項目、21年度で表現を一部変えて実施する項目数が75項目、21年度でさらに推進を図ろうとする項目数は9項目となっています。
- ・ 中身につきましては、お帰りになってから見ていただければと思っております。

【部会長】

- ・ 今の説明につきまして、何か質問等ございませんか。

【委員】

- ・ 平成 21 年度が 285 項目に減るということは、大変私たちにとって喜ばしいことなのですが、この時点でも項目の中身がよくわからないのですが、これは、議論があった場合に、もっと減らすということは提言できるのでしょうか。

【事務局】

- ・ 項目数を減らすことはできます。ただ、中期計画の項目数が 233 項目ありますので、これが終了していなければ、その項目は続けていなければならないので、ある程度まで減ったら中期計画がある以上は減らないのではないかと感じています。

【委員】

- ・ 書いてある中身がよく分からない項目などがありますよね。「検討する」で終わっているとか。こういうのをもうちょっと具体的に書いてくださいというような、そういう指摘なども合わせてお願いするようなことはできるのでしょうか。

【事務局】

- ・ それは可能です。すでに出来上がったものについてはできませんが、来年度に向けては可能だと思います。

【委員】

- ・ 前年度、議論になりましたけれども、「検討する」でいいのかということも含めて、さらに具体的にというのはどんなことをすればいいのか分かるようにしていけるように、考えさせていただければよいと思いますので、色々教えていただきながらやらせていただければと思います。

【事務局】

- ・ 平成 20 年度の業務実績が 6 月末に出てきて、7 月から審議に入りますので、そのときに議論しながら意見を残していきたいと思います。そうすると、来年度に向けて、少しずつ改善されると思います。

【部会長】

- ・ 項目については、終わったら、285 項目からもっと減る可能性はあるわけですね。

【事務局】

- ・ それはあります。

【部会長】

- ・ 他に質問等ございますか。

【委員】

- ・ 平成 21 年度の項目についてはそうですけども、これから私たちは平成 20 年度の分について議論を行うわけですから。昨年と同じことを言っているわけですね。

【部会長】

- ・ それでは、他になければ、今後のスケジュールについて、事務局から説明願います。

【事務局】

- ・ 先ほど、委員会のほうで、資料 9 に基づきまして説明いたしましたが、資料 9 の方をもう一度ご覧になっていただければと思います。真ん中の列ですが、ここに本部会の今後のスケジュールということで、第 4 回まで入っておりますが、再確認ということでお話させていただきたいと思います。
- ・ 第 2 回目の 7 月上旬の部会につきましては、平成 20 年度の業務実績に基づきまして、法人へのヒアリングということになります。これは札幌医科大学のほうに出向きまして、向こうの方で話を聞くということになりますので、これのときにも、もし疑問ですとか、分からないことがあれば、忌憚のないご意見をいただければと思います。
- ・ 続きまして第 3 回目の部会につきましては、8 月上旬を予定しておりますが、これは、私たちの方で作成する年度評価の素案と、知事から意見照会のあります財務諸表と利益処分案について説明を行いまして、ご審議いただくことになります。
- ・ 第 4 回目の部会ですが、これが 8 月中旬でして、これは、3 回目の部会で審議をいただきました、年度評価についての討議と、評価委員会としての評価の決定と、財務諸表と利益処分案についての部会としての意見を決定する形になってまいります。この第 4 回目の部会の決定につきまして、委員会の第 2 回目の委員会に報告していくという形になります。日程の調整がうまくいけば、第 2 回目の委員会と、第 4 回目のこの部会を、同じ日の前後に開催できればと考えております。
- ・ いずれにしても、今後開催いたします第 4 回目までの 3 回の部会につきましては、事前に日程を調整させていただきまして、前年同様、開催の 1 週間ほど前に各委員の皆様の方に、概要のご説明をしながら、開催していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【部会長】

- ・ 今、事務局の方から今後のスケジュールについて説明がありました。次回、2 回目が医大の方に行ってヒアリングを実施するんですね。

【委員】

- ・ 昨年のヒアリングも、全部聞く時間がなかったですね。医大からの概要説明は今回は短くしていただきたいですね。その辺も含めて今年度は事務局において医大と調整をしていただきたいと思えます。

【委員】

- ・ 昨年のヒアリングに関して医大側はどのような感想をお持ちなのですか。

【委員】

- ・ あれはあれでいいという判断をされているんですか？。

【事務局】

- ・ 私たちが話すのは医大の事務局の職員なものですから、あえていいとか悪いとかは聞いておりません。
- ・ 今年は事務局としても、部会の意見交換の時間を取りたいものですから、医大の概要説明は短くするようにお願いします。昨年も実は30分ということをお願いしていたのですが、それが結果的に伸びてしまったものですから、今年はもうちょっと時間をシビアにお願いしたいと思います。

【委員】

- ・ 年度計画に関するものであれば大学の説明が多くてもよいのですが。

【事務局】

- ・ 説明については、実績報告書に基づいてしていただくように、医大の事務局と時間調整したいと思います。
- ・ 昨年場合は、委員の皆さんに予め質問事項を出していただいて、それを時間の中でできればということだったのですが、それもできませんでした。今年も委員に質問項目をお願いしまして、質問時間に合わせた答弁ができるよう、予め医大に回答の準備をお願いしたいと思います。

【委員】

- ・ 次回は医大に伺うということになるんですね。

【部会長】

- ・ ヒアリングですから、どうしてもやはり向こうに行つてということになりますよね。

【委員】

- ・ そうなると、また業務実績以外の時間を取られるような気がして、ちょっと心配です。
- ・ 昨年は個人的にはいい経験をしたと思うんですけど。ただ、委員会的には何かもっとヒアリングという形があればよかったと。

【事務局】

- ・ その辺は事務局の方で調整いたします。

【部会長】

- ・ ヒアリングが時間切れになったとしても、後で文書回答というのは必ずありますからね。これは仕方ないですね。
- ・ 例年、この段階で医大さんからの報告文書をもって、質問文書をお出しして、いきなりヒアリングということでしたか。

【事務局】

- ・ その辺のヒアリングに至るまでの方法につきましても、これから実際に提出されましたら、日程調整と合わせて、委員の皆さんと相談させていただくような形で進めてまいりますし、実際に概要の説明に伺ったときにも、何かご意見ありましたら、それを反映しながら進めていきたいと思えます。
- ・ 昨年はお互いに初めてということで、試行錯誤しながらやったところもあるかと思いますが、2年目ですので、忌憚のないご意見を準備段階からいただきながら進めていければと思えますので、よろしくお願ひしたいと思えます。

【委員】

- ・ 平成20年度の業務実績について、少し早めにいただければと思えます。
- ・ あと、ヒアリングの時は一般的なお話を聞いても仕方がないので。それはもう分かっていますから。

【事務局】

- ・ 学長の挨拶の後は、事務局の方から淡々と説明をしてもらおうという形がよいかと思えます。

【部会長】

- ・ 他に何かご意見はございますか。なければ、第1回目の部会はこれで終了したいと思えます。

【事務局】

- ・ 本日はありがとうございました。